

現代中国映画祭 2025 を楽しみにしてくださっている皆さまへ

楽しみにしてくださっていた皆さまへのご報告が遅くなり、申し訳ございません。

現代中国映画祭 2025 の開催時期につきまして、関係各所と慎重に協議を重ねてまいりましたが、熟慮の末、今回の開催は見送らせていただく判断に至りました。

開催を心待ちにしてくださっていた皆さまには、心よりお詫び申し上げます。

現代中国映画祭は、「中国映画の“いま”を、より多くの日本の観客に届けたい」という思いから、昨年スタートしました。

多くの方にご来場いただき、中国映画の現在地や若手監督の動向、さらには作品を通して見えてくる中国社会について、さまざまな言葉を交わすことができた時間は、私にとっても非常にかげがえのないものでした。

第二回の開催に向けても、年明けから準備を進め、より良い形で、より面白い中国映画をお届けするべく企画を重ねてきました。

しかしながら、昨今の状況は想像以上に複雑で、苦渋の決断ではありますが、今回のシネ・リーブル池袋での開催は見送らせていただくことになりました。

映画を通して、その国の文化や社会を知ることが、とても豊かで、同時にとても大切な営みだと私は考えています。

私自身、映画祭のプログラマーとして日本映画を中国に紹介する仕事に長く携わってきましたが、そこで日本映画や日本文化に魅了された中国の観客と数多く出会ってきました。こうした文化の出会いと広がりこそが、映画の持つ力であり、映画祭の存在意義だと信じています。

だからこそ、今回立ち止まることになったとしても、決して諦めるつもりはありません。また必ず、より良いかたちで中国映画を皆さまにお届けできるよう、準備を重ねていきます。近い将来、現代中国映画祭という場で、再び皆さまと映画を通して交流できる日を、心から楽しみにしています。

今後とも、どうか温かく見守っていただけましたら幸いです。

現代中国映画祭
徐昊辰

